

資 料 編

(1) エリアマネジメント活動助成事業関連資料 - 70

(2) 公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト概要 - 78

(3) 活動団体へのアンケート調査結果 - 79

(4) 活動状況プロット図 - 99

図1 みなとみらい21地区内の活動場所

図2 年度別活動場所の分布と活動名

図3 活動の種類（目的・内容）別分布

図4 活動のタイプ別活動の分布

図5 活動場所の空間種別分布

図6 活動の主体別活動の分布

(5) 助成対象活動の概要 - 105

(6) 選考委員一覧 - 107

(1) エリアマネジメント活動助成事業関連資料

①実施要綱

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業実施要綱

制 定 平成21年9月2日

改 正 平成29年11月1日

(趣旨)

第1条 この要綱は、一般社団法人横浜みなとみらい21（以下「YMM」という）が、みなとみらい21地区における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための取り組み（以下「エリアマネジメント」という）に資する活動を公募し、選考委員会による選考を経て採択された提案に対して活動資金を提供（以下「助成」という）する、「みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業（以下「本事業」という）」の実施に関し、必要な事項を定める。

(対象とする活動)

第2条 本事業の助成の対象は、みなとみらい21地区におけるエリアマネジメントに資する活動とし、また、みなとみらい21地区（中央地区、新港地区、横浜駅東口地区）内の活動とする。

(提案資格)

第3条 本事業への提案資格は、継続して活動している、または継続して活動しようとしている3人以上のグループ（以下「提案グループ」という）とする。

2 前項にかかわらず、次の各号に掲げる者は、提案資格が無いものとし、かつ助成の対象としない。

- (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）
- (2) 暴力団員（法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下この項において同じ。）
- (3) 法人にあっては、代表者又は役員の中に暴力団員に該当する者があるもの
- (4) その他の団体にあっては、代表者が暴力団員に該当するもの

(助成の内容)

第4条 本事業には、助成金額の上限を1件当たり5万円とするコース（以下「みなとコース」という）及び1件当たり50万円とするコース（以下「みらいコース」という）を設ける。みなとコースでは、経費全額を助成し、みらいコースでは、経費合計の5分の4以内の額を助成する。

2 助成する回数は、みなとコースでは各提案グループにつき1回のみとし、また、みらいコースでは各提案グループの類似の活動につき3回までとする。

(対象経費)

第5条 助成の対象となる経費（以下「対象経費」という）は、助成を受けて行う活動（以下「助成活動」という）によって直接発生する経費とする。ただし、選考委員会が認める場合はこの限りでない。

2 対象経費のうち、アルバイト人件費及び助成グループメンバーの交通費の合計費用については、助成額の2分の1以下とする。

（提案）

第6条 提案グループは、指定する日までに、みなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付申請書（第1号様式）、提案書（第2号様式）、収支予算書（第3号様式）（以下「提出書類」という）をYMMに提出しなければならない。

（選考委員会）

第7条 本事業には、選考委員会を設置し、選考委員会により助成を行う提案グループを選考する。

2 選考委員会は、委員6人以内をもって組織し、委員の互選により委員長1名を置く。

（委員の任期）

第8条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（選考委員会の審議）

第9条 選考委員会は、委員の3分の2の出席をもって成立する。

2 選考委員会は、みなとコースの提案グループについて、その提出書類により助成の可否及び助成する金額を決定し、みらいコースの提案グループについて、その提出書類及び公開による選考委員会（以下「公開選考委員会」という）にて助成の可否及び助成する金額を決定する。

3 選考委員会は、提案グループの取組意欲、その活動の適格性、地域性、独創性、実現性、費用対効果、継続性を基準に審査を行う。

4 委員長は、公開選考委員会の全部または一部の非公開を決定することができる。また、委員長が認める場合には、YMMの会員企業が公開選考委員会の審議に参加することができる。

5 選考委員会は、助成を決定するに際し、提案グループの活動に条件を付すことができる。

（助成金交付決定の通知）

第10条 YMMは、助成が決定した提案グループ（以下「助成グループ」という）に対し速やかにみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付決定通知書（第4号様式）を

交付する。

- 2 YMMは、必要に応じ申請者又は前項の決定を受けたものが、第3条第2項各号のいずれかに該当するか否かを神奈川県警察本部長に対して確認を行うことができる。

(活動の実施および報告)

第11条 助成グループは、善良な管理者の注意を持って助成活動を行い、助成金を他の用途に使用してはならない。

- 2 助成グループは、事情の変更等により助成活動の遂行が困難になった場合など、活動の実施に問題が生じた場合は、速やかにYMMに報告しなければならない。
- 3 助成グループは、助成活動が終了後、速やかに、助成活動の成果を記載したみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金対象活動実績報告書(第5号様式)、助成金に係る収支計算に関する事項を記載した収支決算書(第6号様式)及び領収書等経費の支出を証する書類又はその写し(以下「領収書等」という)、活動の中で作成した印刷物等(以下「報告書類」という)をYMMに提出しなければならない。

(助成金の交付および清算)

第12条 YMMは、報告書類に瑕疵がないと認められるときは、その報告書類に基づき、助成すべき最終的な金額(以下「確定助成額」という)を確定し、みなとみらい21エリアマネジメント活動助成金額確定通知書(第7号様式)を当該助成グループに通知する。

- 2 助成グループによるみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付請求書(第8号様式)の提出を受けた後、速やかに確定助成額の全額を交付する。
- 3 第1項及び前項にかかわらず、助成グループは、活動期間中に交付金額の一部を一回に限り、領収書を添付したみなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付部分請求書(第9号様式)により請求することができる。
- 4 前項により、活動の途中で助成金の一部を交付した助成グループに対しては、確定助成額から既に交付した金額を差し引いた額を交付する。

(助成の取消し)

第13条 助成活動者が次のいずれかに該当するときは、助成金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。

- (1) 第3条第2項に該当すると判明したとき。
- (2) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (3) 助成金を他の用途へ使用をしたとき。
- (4) 助成金の交付の決定の内容又はこれに付した条件に違反したとき。
- (5) 法令違反等、その他YMMが助成の取り消すべきと判断する事実が判明したとき。
- 2 前項の規定は、助成金の交付後においても適用があるものとする。
- 3 第1項の規定による取消しをした場合は、YMMは当該助成グループに対し、速やか

にその旨を通知し、当該助成グループは、助成活動の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金が交付されているときは、YMMにこれを返還しなければならない。

(その他)

第14条 本要綱に取り決めのない事項は、YMM及び選考委員会の協議により取り決める。

附則

この要綱は、平成21年9月9日から施行する。

附則

この要綱は、平成27年3月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成28年12月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成29年11月1日から施行する。

②提案書式

・申請書

第1号様式（第6条）【非公開】

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成金交付申請書

平成 年 月 日

（申請先）

一般社団法人横浜みなとみらい21理事長

申請者

グループ名 (25字以内)	フリガナ
所在地	〒
代表者 職・氏名 (署名又は押印)	フリガナ 印

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業実施要綱第6条に基づき、関係書類を添えて次のとおり申請します。

1 助成金を受けて行う活動について

交付を受けようとするコース及び助成金の額 ※申請するコースに☑を入れてください。	☐ みなとコース [上限5万円]	☐ みらいコース [上限50万円]
	¥ . -	
助成金を受けて行う活動の予定期間 ※準備等の活動期間も含め記入してください。	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
添付書類 ※添付資料（A4版2ページまで）についても、記入してください。	1 提案書（第2号様式） 2 収支予算書（第3号様式） 3 4	

2 グループについて

グループ結成年月 ※NPOや任意団体以外は記入しなくて結構です。	年 月		
グループのメンバー構成 ※NPOや任意団体以外は記入しなくて結構です。	[メンバー数] 人		
	[年代構成]		
	20歳未満 人、	20歳代 人、	30歳代 人、
	40歳代 人、	50歳代 人、	60歳以上 人
グループのメンバー			
氏 名	グループ内の役割	他に所属している	

・提案書（みらいコース）

みなとみらい21 エリアマネジメント活動助成事業
第2号様式 その1（第6条）【公開】

【みらいコース】

提 案 書

提案名 (25字以内)	
グループ名 (25字以内)	

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

ホームページ

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4 月	
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	
12 月	
1 月	
2 月	
3 月	

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所
(6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果（活動を行うことによる当地区への効果）
(8) その他、特徴やアピールする点

・ 提案書（みらいコース）

みなとみらい 21 エリアマネジメント活動助成事業
第 2 号様式 その 2（第 6 条）【公開】

【みなとコース】

提 案 書

提案名 (25 字以内)	
グループ名 (25 字以内)	

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近 5 年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

ホームページ

【2】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

(1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所 (6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果 (8) その他、特徴やアピールする点

・ 予算収支書

みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業

第3号様式（第6条）

収 支 予 算 書

グループ名 _____

1 収入（自己資金や他の助成金などを記入してください。）

項 目	金 額	説明（負担者及び負担方法等）
助成金（A）		
合 計（B）		（B） ≥ （C）

2 支出（助成金対象経費分）

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
合 計（C）				【みなとコース】（C） ≥ （A） 【みらいコース】（C） × 4/5 ≥ （A）

(2) 公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト概要

1 助成の目的

みなとみらい21地区の振興と活性化を図り、活き活きと活動できる国際色あふれる街の創造に寄与すること

2 助成対象者

みなとみらい21地区において、みなとみらい21地区の振興と活性化のため、以下の活動を行う団体または法人。

3 助成の対象とする活動

① 地区全体の防災に資する活動

・防災対策 ・広報啓発 ・一時帰宅困難者対策 など

② 良好な都市環境の維持保全創造に資する活動

・緑化・植栽保全業 ・公共空間グレードアップ ・環境対策 など

③ 賑わいと国際色溢れるまちづくりに資する活動

・賑わいづくり ・観光対策 ・地域交流 など

④ その他、地区の振興に資する活動

・実施効果が地区全体に及ぶもの など

4 助成の対象とする活動期間

2020年4月1日から2021年3月31日まで

5 助成の対象となる実施エリア

みなとみらい21地区（中央地区、新港地区、横浜駅東口地区）

6 助成の内容

コース名	助成限度	助成回数	助成予定団体数
Aコース	50万円	3回まで	5～6
Bコース	100万円	原則として3回まで	1～2
Cコース	活動費の90%	原則として3回まで	若干数

7 運営委員会による審査基準

- | | |
|-----------|----------|
| ① 活動の公益性 | ④ 費用の妥当性 |
| ② 活動の必要性 | ⑤ 活動の先進性 |
| ③ 活動の波及効果 | ⑥ 活動の実現性 |

*2020年度公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト募集要項から抜粋

(3) 活動助成団体へのアンケート調査

①実施概要(再掲)

●実施対象及び方法

ア 対象:59 団体 (回答 30 団体)

イ 主な方法:調査票郵送

ウ 調査内容:

- 助成事業の評価
- 現在の活動状況
- 今後に必要な支援

エ 実施期間:令和元年5月 20 日～令和元年6月 20 日

助成回数別回収状況

助成3回 9団体 30.0%

助成2回 5団体 16.7%

助成1回 16 団体 53.3%

●調査のポイント

- ① 助成事業はエリアマネジメント活動の振興に効果があるか。
- ② エリアマネジメント助成事業の評価(自立の促進、活動認知への貢献、等)。
- ③ みなとみらい 21 地区を選んだ理由(MM21 地区は活動しやすい場所か)。
- ④ エリアマネジメント活動に必要な支援は何か。
- ⑤ YMM の役割は何か。

●アンケート項目

ア 団体の属性

Q 名称、活動内容、メンバー数、設立年、構成(性別、年代)、
みなとみらいとの関わり(就業者、住民)

イ 助成活動の内容と動機 (③調査のポイントの番号 以下同じ)

Q 助成を受けて行ったのはどのような活動か。

Q なぜ助成事業に応募したか。

ウ 助成事業への評価 ①

Q 助成金が活動に役立ったか。

Q どのような点で役に立ったか。

(資金確保、活動認知、ネットワーク形成等)

エ 現在の活動状況について

Q 現在活動をしているか(している、していない)

オ 継続しているグループの成果、課題 ①②③

Q (している)現在の活動はどのようなものか。

Q (している)どのように発展したか。(法人化、企業との連携、他)

Q (している)活動場所はみなとみらい 21 地区か。

Q (している・MM21 地区外)MM21 地区で活動していない理由は何か。

カ 活動を中止したグループ ④

Q (していない)休止の原因は何か。

Q どんな支援があれば継続が可能だったと思うか。

キ 活動に必要な支援 ④⑤

Q どんな支援があればいいと感じるか。

ク MM21 地区での活動の意向 ③

Q 今後みなとみらい 21 地区で活動したいと思うか。

Q (思う)なぜそう思うか。

Q (思わない)なぜそう思うか。

②調査結果

Q1 貴団体についてお聞きします。

Q1-1 名称をお書きください。

Q1-2 貴団体の主な活動をお書きください。

Q1-3 団体メンバー数をお書きください。

「10～19 人」の回答が最も多く 3 分の 1 を占めているが、「団体メンバー」のとらえ方が回答団体により異なったようで、回答のばらつきが大きい。

集計表1 団体の規模別団体数

	回答数	%
1～9人	3	10.0
10～19人	10	33.3
20～29人	4	13.3
30～49人	2	6.7
50～99人	2	6.7
100人～	5	16.7
その他(団体数など)	3	10.0
無回答	1	3.3
計(N)	30	100.0

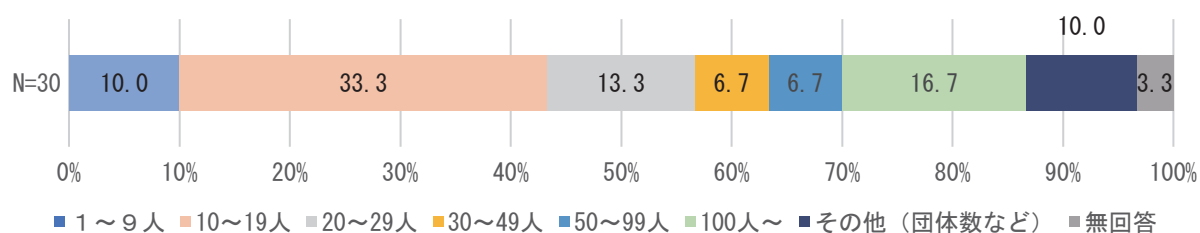
*「その他」3 件の内容 (回答の記述のとおり)

・10*、会員 123、参加生徒 160

・5 団体

・理事 13 名、サポーター企業約 70 名

図1 団体の規模(メンバー数)別団体数の割合



(N=回答数 以下各グラフとも同じ)

Q1-4 団体メンバー構成について該当する番号に○をつけ、()内に具体的な数字をお書きください。

1 メンバー(個人)数

集計表2 団体の規模別団体数 個人(全体)

	回答数	%
1～9人	3	10.0
10～49人	11	36.7
50～99人	3	10.0
100人～	4	13.3
無回答	9	30.0
計(N)	30	100.0

集計表3 団体の規模別団体数 個人(男)

	回答数	%
1～9人	10	33.3
10～49人	5	16.7
50～99人	4	13.3
100人～	1	3.3
無回答	10	33.3
計(N)	30	100.0

集計表4 団体の規模別団体数 個人(女)

	回答数	%
1～9人	12	40.0
10～49人	7	23.3
50～99人	1	3.3
100人～	2	6.7
無回答	8	26.7
計(N)	30	100.0

2 企業・団体数

回答 30 団体のうち、13 団体が回答し、その約半数が「1～4 社」と回答。

集計表5 メンバーの企業・団体数別団体数

	回答数	%
1～4社	6	46.2
5～9社	1	7.7
10～50社	4	30.8
50社～	1	7.7
その他	1	7.7
回答数(N)	13	100.0

*「その他」の内容 5～6 社 10 名前後

3 その他

2 件(寺院 5、郵便局 13、西区)

Q1-5 団体メンバーの年代について、おわかりになる範囲でかまいませんのでお書きください。

団体メンバーの年代は、累計数では 30 歳代が 620 人で最も多く、20 歳代の 570 人がそれに次いでおり、若い世代が主力になっている。回答団体当たりの平均人数でみると、20～30 代の若い世代に次いで、70 歳以上も多くなっている。

集計表 6 団体メンバーの年代別団体数とメンバー数

	回答数	累計数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
20歳未満	8	107	13.4	1	43
20歳代	13	570	43.8	1	496
30歳代	15	620	41.3	1	384
40歳代	17	350	20.6	1	252
50歳代	18	255	14.2	1	168
60歳代	14	163	11.6	1	93
70歳以上	15	172	34.4	2	135

Q1-6 活動の中心となるメンバーとみなとみらい21地区とのかかわりについて、該当する番号に○をつけてください。

半数の 15 団体が「メンバーの中に MM21地区の就業者または企業・団体がいる」と回答。「住んでいる人がいる」(3 団体)は少なく、就業者や企業・団体が中心になっている。また、助成は MM 地区内での活動を対象にしているので、「特に関係ない」も 8 団体あった。

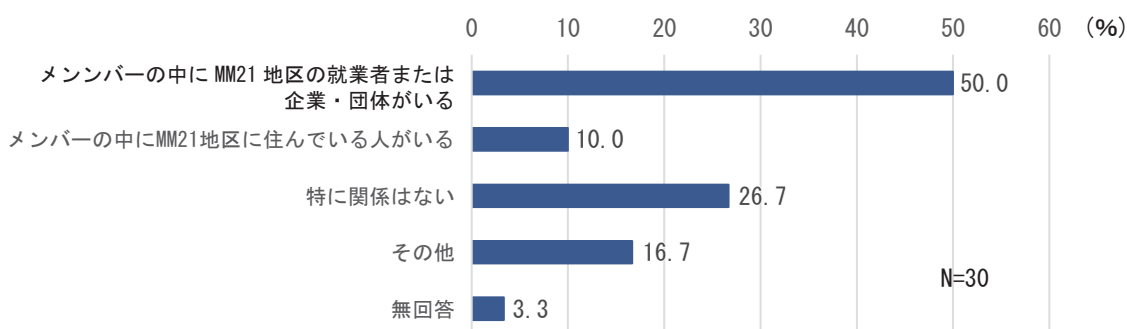
集計表 7 メンバーの中に MM21 地区の就業者や企業・団体、居住者がいる団体数

	回答数	%
メンバーの中にMM21地区の就業者または企業・団体がいる	15	50.0
メンバーの中にMM21地区に住んでいる人がいる	3	10.0
特に関係はない	8	26.7
その他	5	16.7
無回答	1	3.3
回答数	32	—
計(N)	30	100.0

*[その他]の内容

- ・以前、MM21地区に事務所があった。
- ・活動場所の一つが MM21
- ・活動の中心がみなとみらい21地区
- ・横浜を愛する市民
- ・全員が地域住居を有する
- ・活動場所が MM21地区

図 2 メンバーの中に MM21 地区の就業者や企業・団体、居住者がいる団体の割合



Q1-7 これまでに受けた助成について該当する番号に○をつけてください。みらいコースの場合は、回数もお書きください。

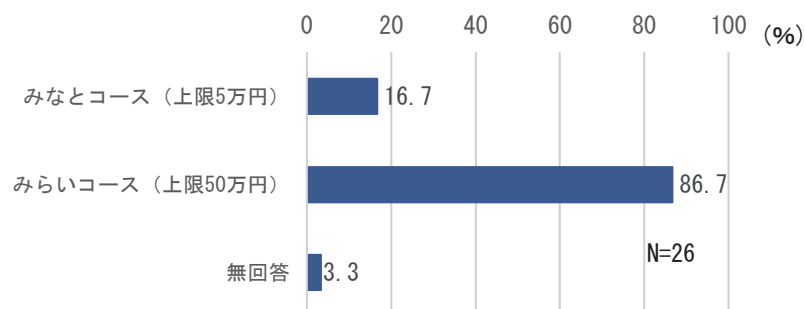
回答団体のうち、26 団体が上限 50 万円の「みらいコース」の助成を受けている。(両コースの助成を受けた団体もあるため、回答数は団体数を超えている)

「みらいコース」は3回まで助成を受けられるが、最も多いのが「1回」、ついで「3回」であった。

集計表 8 コース別助成を受けた団体数

	回答数	%
みなとコース(上限5万円)	5	16.7
みらいコース(上限50万円)	26	86.7
無回答	1	3.3
回答数	32	-
計(N)	30	100.0

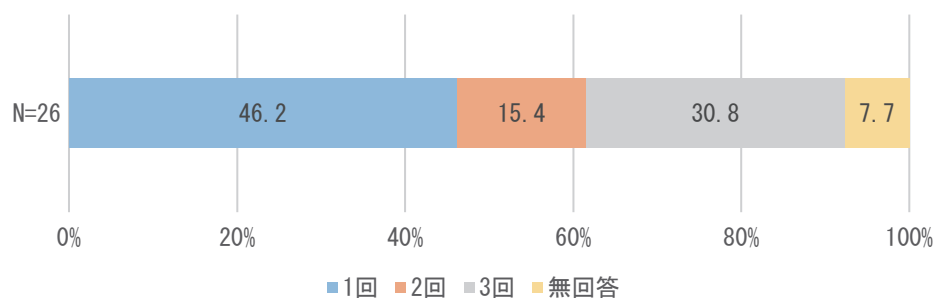
図 3 コース別助成を受けた団体の割合



集計表 9 助成を受けた回数別団体数 <みらいコース>

	回答数	%
1 回	12	46.2
2 回	4	15.4
3 回	8	30.8
無回答	2	7.7
計(N)	26	86.7

図 4 助成を受けた回数別団体の割合 <みらいコース>



Q2 助成を受けて行った活動についてお聞きします。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

助成を受けて行なった活動は、「イベント・賑わい創出」が最も多く、半数を占めている。

集計表 10 助成を受けて行った活動の目的・内容別団体数

	回答数	%
防犯・防災	1	3.3
健康・スポーツ	1	3.3
芸術・文化(音楽、絵画、写真、ダンスなど)	4	13.3
環境問題(海、緑化など)	2	6.7
清掃、地域美化	2	6.7
イベント・にぎわい創出	15	50.0
ホスピタリティ向上(ボランティアガイド、バリアフリーなど)	1	3.3
地域情報の発信	2	6.7
福祉(高齢者、障害者、子ども)	4	13.3
国際交流	2	6.7
その他	3	10.0
無回答	0	0.0
回答数	37	-
計(N)	30	100.0

*その他の内容

・青少年に対してのボランティア活動経験

・道案内

・がん患者支援活動の基金・寄付金集め

*2つ以上○をつけている団体6含む

Q3 本助成事業に応募したきっかけ・理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答上位2つまで)

応募の理由は、「活動場所としてMM21地区が適当であったから」と「活動資金の確保ができるから」がともに16件の回答があった。ついで、「これまでの活動を広げることができると思ったから」が14件。

集計表 11 応募したきっかけ・理由別団体数

	回答数	%
活動場所としてMM21地区が適当であったから	16	53.3
活動資金の確保ができるから	16	53.3
これまでの活動を広げることができると思ったから	14	46.7
活動への参加者が見込めると思ったから	3	10.0
その他	3	10.0
無回答	0	0.0
計(N)	30	100.0

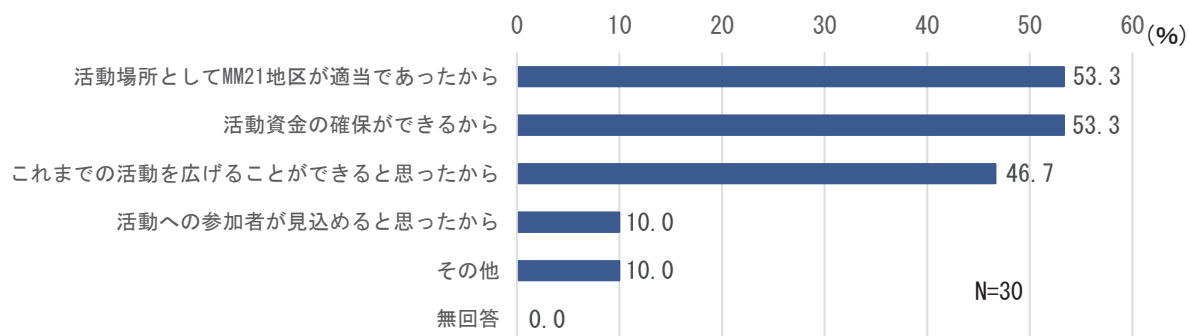
*その他の内容

・当時のメンバーのすすめから

・専務理事から声かけいただいた

・活動をスタートする際、資金がなかったため

図5 応募したきっかけ・理由別団体の割合



Q4 貴団体の活動に、本助成事業は役に立ちましたか。該当する番号に○をつけてください。

30 団体中 28 団体が「はい」と回答、助成事業が各団体の活動に役立っている。

集計表 12 助成事業の評価別団体数

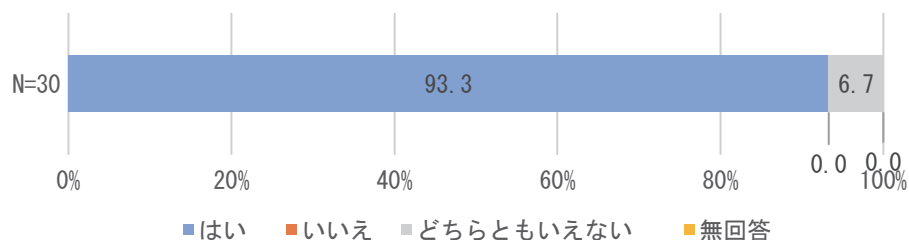
	回答数	%
はい	28	93.3
いいえ	0	0.0
どちらともいえない	2	6.7
無回答	0	0.0
計 (N)	30	100.0

→Q4-1 にお進みください。

→Q4-2 にお進みください。

→Q5にお進みください。

図6 助成事業の評価別団体数の割合



Q4-1 はいと答えた方にお聞きします。どのような点で役に立ちましたか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

活動に役立ったこととしては、8割以上が「活動資金を確保できた」と回答している。

一方、「事務局に告知・広報してもらった」(42.9%)や「助成を受けることで認知してもらえた」(39.7%)など、資金面ではない効果も期待されている。

集計表 13 助成事業の評価別団体数(複数回答)

	回答数	%
活動資金を確保できた	23	82.1
活動場所を確保できた	3	10.7
団体のメンバーが増えた	3	10.7
活動にメンバー以外の多くの人が参加してくれた	8	28.6
選考会や報告会を通して、他の団体の情報を得ることができた	6	21.4
他の活動団体との連携ができるようになった	6	21.4
地区内の企業と連携がとれるようになった	5	17.9
事務局(YMM)に告知・広報に協力してもらった	12	42.9
助成を受けることで活動を認知してもらえた	10	35.7
その他	1	3.6
無回答	0	0.0
回答数	77	-
計(N)	28	100.0

*「他の活動団体連携先」の内容

- ・路上芸術祭委員会、みなとみらいごはん部
- ・サイクルピクニック実行委員会
- ・ハマ☆スカ、アイラブヨコハマ、サンタプロジェクト
- ・さくらリビング(横浜コース)
- ・高島中央公園愛護会(2件)

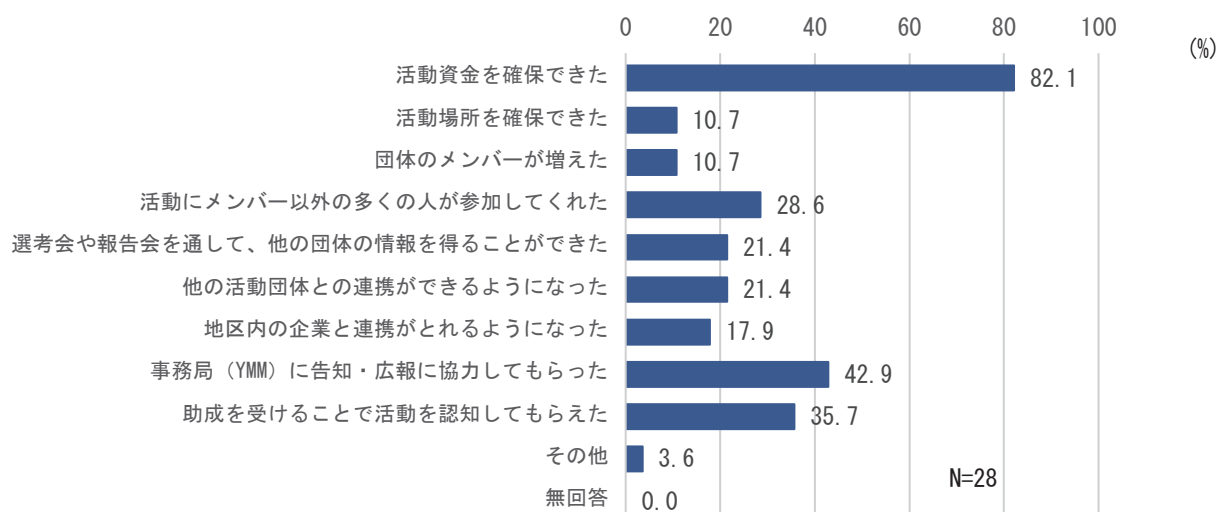
*「地区内の企業連携先」の内容

- ・富士通エフサス
- ・アサヒペット
- ・三菱地所リテールマネジメント

*その他の内容

- ・備品、ごみ袋、軍手代

図 7 助成事業の評価別団体数の回答率(複数回答)



Q4-2 いいえと答えた方にお聞きます。どのような点が不足している(いた)と感じましたか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

Q4で、「いいえ」と回答した団体はなかった。

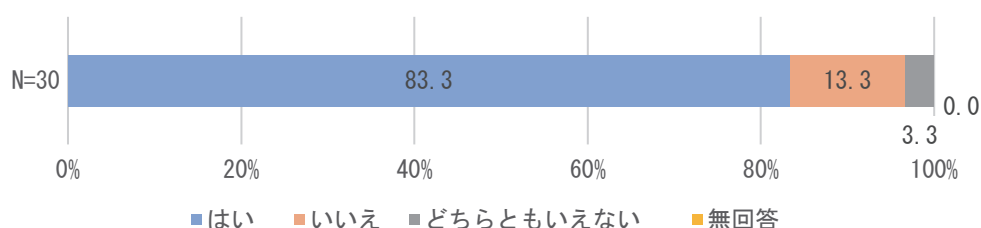
Q5 貴団体は今も継続して活動していますか。該当の番号に○をつけてください。

30 団体中 25 団体が継続して活動している。

集計表 14 現在の活動状況(活動を継続しているか)別活動数

	回答数	%
はい	25	83.3
いいえ	4	13.3
無回答	1	3.3
計(N)	30	100.0

図 8 現在の活動状況(活動を継続しているか)別活動の割合



Q5-1 はいと答えた方にお聞きます。

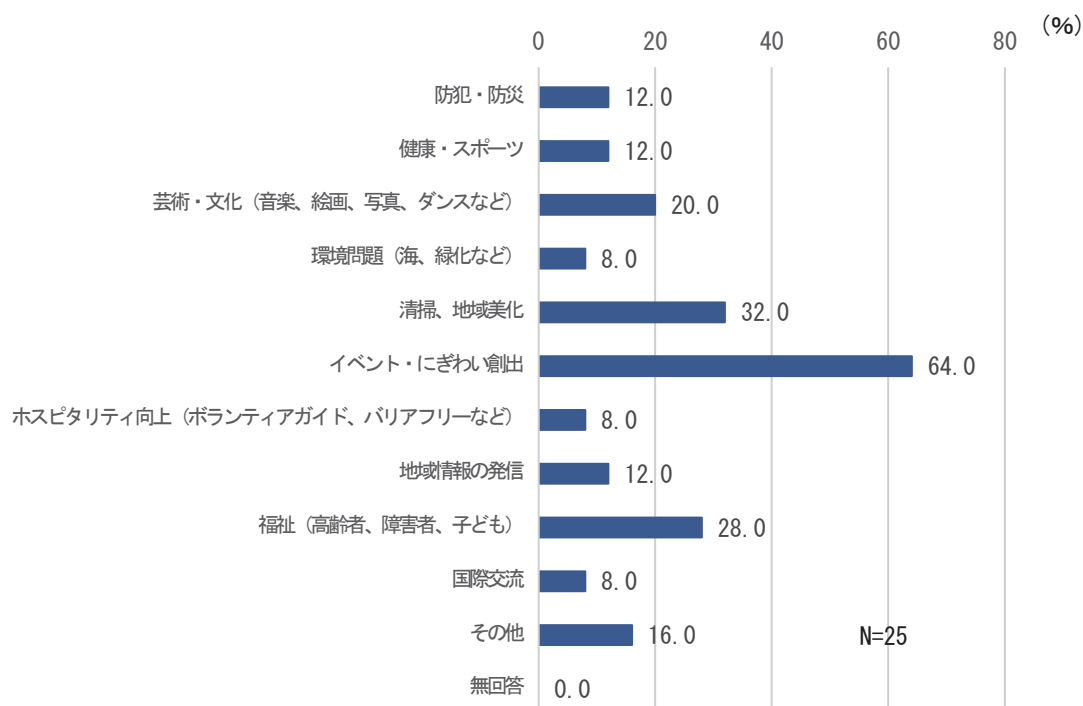
Q5-1-1 現在の活動は主にどのような活動ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

Q2の助成を受けた活動内容と同じく、「イベント・にぎわい創出」が最も多くなっている。これについて、「清掃・地域美化」「福祉」などが多くなっている。

集計表 15 現在の活動内容別団体数(複数回答)

	回答数	%
防犯・防災	3	12.0
健康・スポーツ	3	12.0
芸術・文化(音楽、絵画、写真、ダンスなど)	5	20.0
環境問題(海、緑化など)	2	8.0
清掃、地域美化	8	32.0
イベント・にぎわい創出	16	64.0
ホスピタリティ向上(ボランティアガイド、バリアフリーなど)	2	8.0
地域情報の発信	3	12.0
福祉(高齢者、障害者、子ども)	7	28.0
国際交流	2	8.0
その他	4	16.0
無回答	0	0.0
回答数	55	-
計(N)	25	100.0

図 9 現在の活動内容別団体数の回答率



Q5-1-2 現在の活動のための資金の確保はどのようにしていますか。該当する番号に○をつけてください。1を選ぶ場合は、その内訳に該当するものに○をつけてください。

「自己資金+助成金+協賛金」が9団体で最も多く、複数の収入源を持っていることがわかる。

集計表 16 現在の活動のための資金の構成別団体数

	回答数	%
自己資金のみ	6	23.1
自己資金+自治体・企業等の助成金	4	15.4
自己資金+企業等の協賛金	5	19.2
自己資金+助成金+協賛金	9	34.6
その他	3	11.5
無回答	0	0.0
回答数	27	-
計 (N)	26	100.0

*「1 自己資金のみ」(6 件)の内容
 ・会費 (1 件)
 ・会費、参加費、寄付 (1 件)
 ・各自負担 (1 件)
 ・内容記載なし (3 件)

*Q5で「いいえ」と回答している団体の回答を含む

Q5-1-3 現在の活動について、以前と比べてどのように変化したか、該当するものに○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

「活動への参加者が増加した」「活動地域が拡大した」「活動資金が増加した」などプラスの評価が上位になっている。

集計表 17 活動の変化の内容別団体数(複数回答)

	回答数	%
活動地域が拡大した	11	40.7
活動への参加者が増加した	14	51.9
活動資金が増加した	8	29.6
活動地域が縮小した	0	0.0
活動への参加者が減少した	2	7.4
活動資金が減少した	2	7.4
特に変化はない	2	7.4
その他	2	7.4
無回答	0	0.0
回答数	41	-
計(N)	27	100.0

*Q5で「いいえ」と回答している団体の回答を含む

Q5-1-4 現在の活動は、主にどこで行っていますか。該当する番号に○をつけてください。

現在の活動場所は、「MM21地区」の回答が多くなっている。

集計表 18 現在の主な活動場所別団体数

	回答数	%
MM21地区	20	74.1
MM21地区以外	7	25.9
無回答	2	7.4
回答数	29	-
計(N)	27	100.0

*重複回答2件

*Q5で「いいえ」と回答している団体の回答を含む

*「MM21地区以外」(7件)の内容

- ・今年(2019年)は町田市と広島市
- ・都筑区を中心に神奈川県全域
- ・初黄・日ノ出町エリア
- ・横浜駅周辺、MM21地区、他市内
- ・kosha33、ライフデザインラボ
- ・横浜・横須賀
- ・南区

Q5-1-5 MM21地区で活動していると答えた方にお聞きします。MM21地区で活動している理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

MM21で活動を継続している理由として、「活動場所があるから」、「メンバーがMM21とかかわりがあるから」、「観光客等、人が多く集まるから」などの回答が上位になっており、いずれもMM21の資源が、活動場所として選ばれる理由になっている。

集計表 19 MM21地区で活動を継続している理由別団体数(複数回答)

	回答数	%
観光客等、人が多く集まるから	8	34.8
活動場所があるから	13	56.5
交通手段など便利だから	2	8.7
資金確保がしやすいから	0	0.0
他の活動団体と連携しやすいから	3	13.0
企業と連携しやすいから	4	17.4
メンバーがMM21地区とかかわりがあるから (住民、就業者、団体・企業、その他)	11	47.8
その他	2	8.7
無回答	0	0.0
回答数	43	-
計(N)	23	100.0

*Q5-1-4で「MM21地区以外」と回答している団体の回答を含む

*「活動場所があるから」(13件)の内容

- ・市民活動支援センター
- ・みなとみらい本町小学校
- ・高島中央公園
- ・パシフィコ横浜円形広場
- ・臨港パーク
- ・高島水際線公園、象の鼻パーク
- ※記載なし(7件)

*[メンバーがMM21地区とかかわりがあるから]の内容

- ・住民 2
- ・就業者 2
- ・団体・企業 3
- ・その他(行政) 1
- ※記載なし(3件)

*「その他」の内容

- ・他団体との関係
- ・地域連携・地域貢献活動としての取り組み

Q5-2-1 活動を断念または休止した理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

一方、活動を休止した団体は、最も多いのが「活動資金を確保できなかった」(3団体)であった。

集計表 20 活動を断念または休止した理由別団体数(複数回答)

	回答数	%
活動資金を確保できなかった	3	60.0
活動場所を確保できなかった	1	20.0
グループメンバーの確保ができなかった	1	20.0
活動への参加者が少なくなった	0	0.0
他の団体との連携ができなかった	1	20.0
地区内の企業と連携がとれなかった	1	20.0
活動の告知・広報の手段がなかった	0	0.0
その他	3	60.0
無回答	1	20.0
回答数	11	-
計(N)	5	100.0

*Q5で「はい」と回答している団体の回答を含む

*その他の内容

- ・高校生の団体として立ち上げたため、卒業して活動をやめてしまいました。
- ・元々の活動拠点に戻りたかった(横浜駅)
- ・別エリアでの活動に人員が取られて手がまわらない

6 貴団体において、現在何が課題だと考えていますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答 上位3つまで)

活動の課題として、「資金の確保」を30団体中21団体が上げている。つぎに「実務担当者の不足」(8団体)が上がっている。活動団体の事務局機能にあたるニーズであり、エリアマネジメントの事務局があり、企業による社会貢献やプロボノなどの期待もできるMM21では、今後の支援の可能性はあるのではないかな。

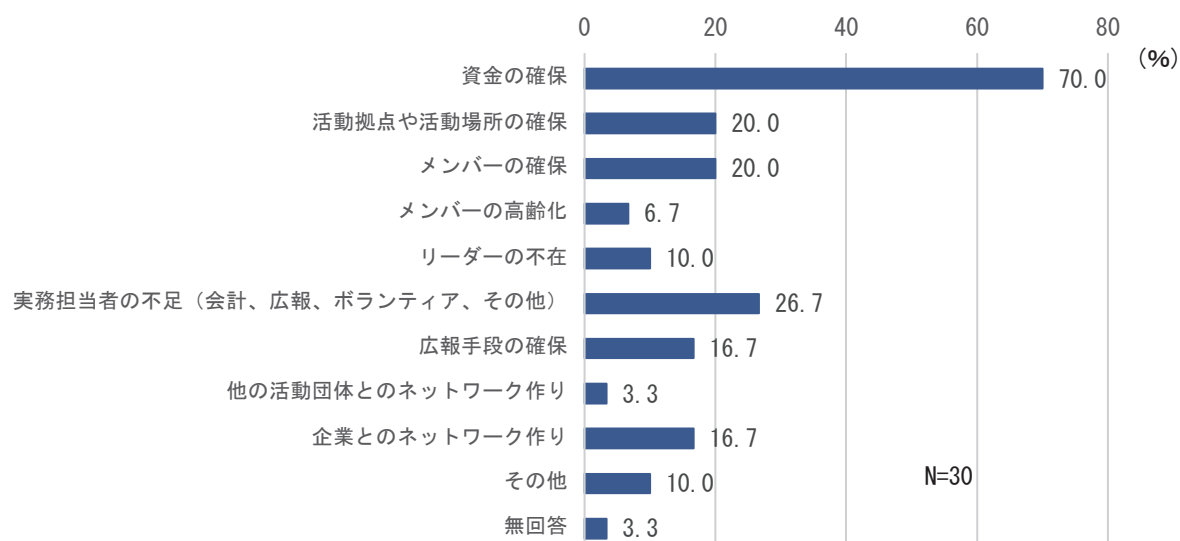
集計表 21 現在の課題別団体数(複数回答)

	回答数	%
資金の確保	21	70.0
活動拠点や活動場所の確保	6	20.0
メンバーの確保	6	20.0
メンバーの高齢化	2	6.7
リーダーの不在	3	10.0
実務担当者の不足(会計、広報、ボランティア、その他)	8	26.7
広報手段の確保	5	16.7
他の活動団体とのネットワーク作り	1	3.3
企業とのネットワーク作り	5	16.7
その他	3	10.0
無回答	1	3.3
回答数	61	-
計(N)	30	100.0

*その他の内容

- ・本体とサポーターとのコミュニケーション不足
- ・スケジュール調整、皆立場が変化した

図 10 現在の課題別団体数の回答率

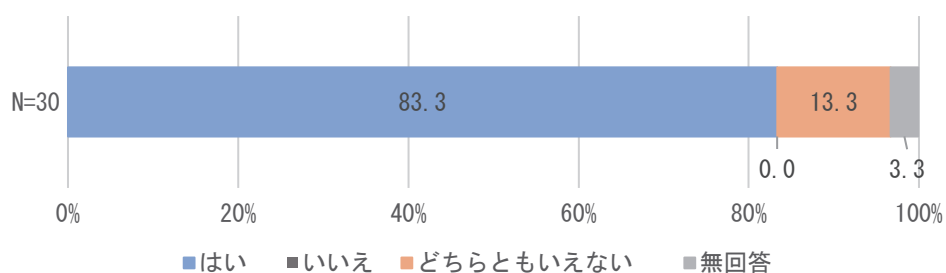


Q7 貴団体では、今後 MM21地区で活動したいと思いますか。該当する番号に○をつけてください。
今後の活動について、30 団体中 25 団体が MM21地区で活動したいと回答している。

集計表 22 今後 MM21地区で活動する希望別団体数

	回答数	%
はい	25	83.3
いいえ	0	0.0
どちらともいえない	4	13.3
無回答	1	3.3
計 (N)	30	100.0

図 11 今後 MM21地区で活動する希望別団体数



Q7-1 はいと答えた方にお聞きます。なぜそう思いますか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

MM21地区で活動したい理由としては、「MM21地区への社会的な興味関心が高い」（12 団体）、「活動への多くの参加者が期待できる」（11 団体）など MM21地区の注目度や集客などが期待されている。

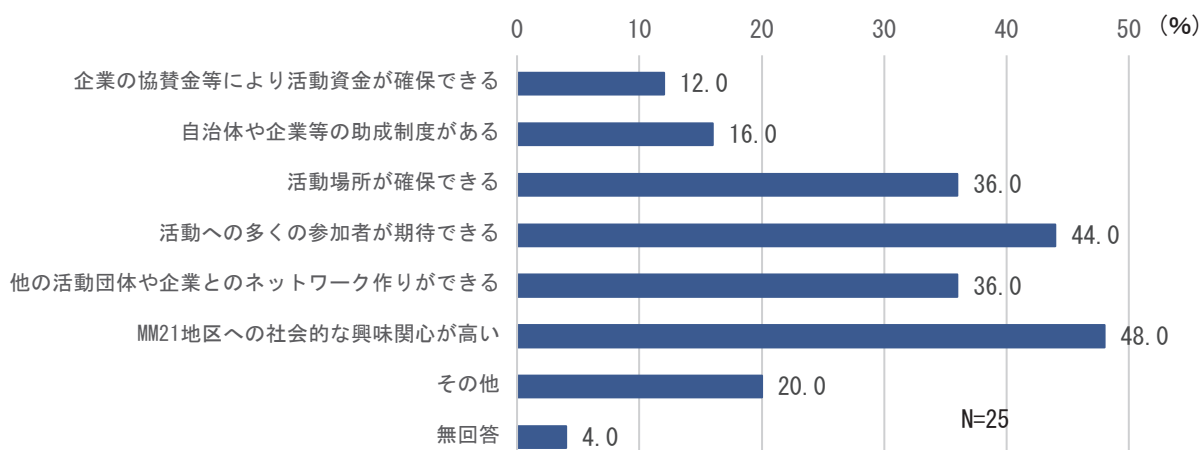
集計表 23 MM21地区で活動したい理由別団体数(複数回答)

	回答数	%
企業の協賛金等により活動資金が確保できる	3	12.0
自治体や企業等の助成制度がある	4	16.0
活動場所が確保できる	9	36.0
活動への多くの参加者が期待できる	11	44.0
他の活動団体や企業とのネットワーク作りができる	9	36.0
MM21地区への社会的な興味関心が高い	12	48.0
その他	5	20.0
無回答	1	4.0
回答数	54	-
計(N)	25	100.0

*その他の内容

- ・助成金を受けたときの理由の1つとして、横浜から発信したい
- ・継続することが何よりも大切だと思うから
- ・地元住民のお祭りであるため
- ・地域連携・地域貢献活動としての取り組み
- ・市民が海に触れることができる場が多いから

図 12 MM21地区で活動したい理由別団体数の回答率



Q7-2 いいえと答えた方にお聞きます。

なぜそう思いますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

Q7で「いいえ」の回答はなかった。

Q8 本助成事業では公開選考会を実施しました。公開の場で助成の可否が決定することについてどのように感じますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

公開選考会については「選考の過程が透明で、公平だと感じた」を 30 団体中 23 団体が回答。「公開で行わない方がよい」と回答した団体はなく、公開選考会に対する否定的な意見はなかった。

「自分たちの提案した内容に不足している点がわかった」や「質疑で出された意見が活動を企画する上で参考になった」など、その後の活動への効果を感じている。

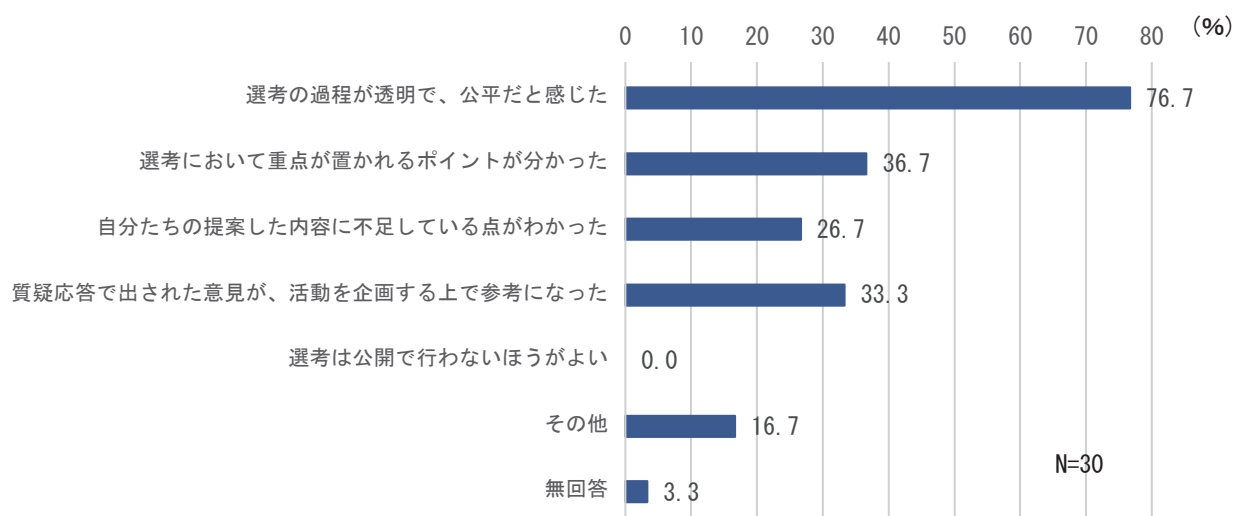
集計表 24 公開選考会に対する評価別団体回答数(複数回答)

	回答数	%
選考の過程が透明で、公平だと感じた	23	76.7
選考において重点が置かれるポイントが分かった	11	36.7
自分たちの提案した内容に不足している点がわかった	8	26.7
質疑応答で出された意見が、活動を企画する上で参考になった	10	33.3
選考は公開で行わないほうがよい	0	0.0
その他	5	16.7
無回答	1	3.3
回答数	58	—
計(N)	30	100.0

*その他の内容

- ・他の提案グループと連携するきっかけになった
- ・企画が通るところ、通らないところは、私から見ても判断しやすく、プレゼンテーションの場は透明性があって良いと感じました。
(地域のためになっているか、自分よがりの企画になっていないか、など)
- ・もっと多くの方が関わった方がよい
- ・選考員に海洋環境や教育、レジャーの指揮者がいると良いと思います。

図 13 公開選考会に対する評価別団体回答の回答率



Q9 本助成事業など活動を支援する仕組みについてご意見やご感想を自由にお書きください。

30 団体中 16 団体から回答があった。

主な意見としては、選考会でのアドバイスや活動のサポートがあったこと、選考や報告など一連の行程で他の団体の活動がわかったり連携の機会ができたこと、などがある。また、企業とのマッチングを期待する意見もあった。

一方、選考日程については、平日のみでは参加しにくい、という意見があった。

1	2016年の助成があったから今の活動が継続して出来ていると思います。またみなとみらいで企画を行いたいと思います！ありがとうございました！
2	これからも機会があればよろしくお願いします。
3	3回の助成ありがとうございました。私達の団体のように、活動資金が少ない、また、実際にみなとみらいでの活動時も収入のある活動ではない団体にとっては、この助成金は本当にありがたかったです。また、この期間の間に、今後の活動の資金を含め、活動しながら、先のことを考える時間があつたことも大きかったです。選考会での厳しいアドバイスも役立てることができました。
4	続けて活動していくことに価値があるような活動には例えば2分の1助成などでも補助があると途絶えずにできる。
5	その節は大変お世話になりました。おかげさまで活動を充実させることができました。また、2度目の申請の折は、公開審査の日に辞退を申し入れることとなり、本当にご迷惑をおかけしました。その後、個々のサポーターの意見に耳をかたむけ、互いにより深く活動に取り組むことができました。今後もまたご縁がありましたらよろしくお願い致します。
6	私が貴殿に助成をしていただいたのは高校生の頃でした。右も左も分からない未熟な私を全力でサポートしてくださり、活動実績もなかった私の団体に助成までしていただけた事は、あの頃の私に地震や活動のエネルギー、社会貢献の意欲をもたらしてくれました。今はもうconnectでの活動はしていませんが、この時の経験を糧にして、今後も様々な活動に取り組めたらと思います。本当にありがとうございました！！皆様の、新しい事業がより多くの方々の活動の支えになることを心より願っております。
7	活動に関心がある企業、団体とのマッチングをしていただけると助かります。引き続きよろしくお願いします。
8	支援いただき、大変助かりました、感謝しています。今後、例えばお金に限らず、モノやネットワーク、場所など活動とMM21の持っている資源をつなぐ支援もあつたら面白いなと思いました。
9	NPOの組織強化を支援する仕組みを希望します。伴走型のサポート等。その節はお世話になりました！感謝しています！
10	選考会でのプレゼン時間がもっとあつたらと思います。5分はさすがに厳しいです・・・せめて15分位いただけたら・・・
11	・MM21関係者だけでなく、市民も多く公開選考に参加。 ・土日祝での活動をする者もいるため、平日のみでは参加・申し込みできなくなりました。日曜日などでの実施が必要と思う。平日活動できる(参加できる)方・団体しか申請ができない。
12	ご配慮頂き有難うございました。おかげ様で資金面でも円滑に運営できました。今後どうぞよろしくお願い致します。
13	「まちが人をそだてるプロジェクト」はまだまだ進行中です。貴助成事業で基礎を作り上げたかったのですが、残念です。公開選考会でのご意見をもとに今後も活動していく予定です。ご支援ありがとうございました。
14	貴助成事業を受けることによって、当団体の方向性や意義を再確認することができました。さらに他団体との交流も積極的に行うようになりました。公開選考会での指摘事項がとても参考になったからです。
15	公開選考会は、他の団体の活動ぶりを知ることができ、自分の活動を、明確な言葉で表現することができて、とても良かったと感じている。なれないプレゼンは重荷であり、緊張感が強かったが、良い機会だったと感じています。本部スタッフさんたちも対応が早く、とても良い感じで対応してくださった。ありがとうございました。
16	助成事業として活動資金を受けることにより、真剣に活動に取り組むことになり、隊員等のモチベーションも向上、また地域住民等の協力を受けることができた。

クロス集計

Q1-6(みなとみらい21地区とのかかわり)×Q5(団体の継続)

		Q5			
		計	はい	いいえ	無回答
Q1-6	全体 (※Q1-6複数回答含む)	30	25	4	1
	メンバーの中にMM21地区の就業者または企業・団体がいる	15	13	2	0
	メンバーの中にMM21地区に住んでいる人がいる	3	3	0	0
	特に関係はない	8	6	1	1
	その他	5	4	1	0
	無回答	1	1	0	0

Q1-7(助成回数)×Q4-1(助成が活動に役立った点)

		Q4-1											
		計	活動資金を確保できた	活動場所を確保できた	団体のメンバーが増えた	活動にメンバー以外の多くの人に参加してくれた	選考会や報告会を通して、他の団体の情報を得ることができた	他の活動団体との連携ができるようになった	地区内の企業と連携がとれるようになった	事務局(YMM)に告知・広報に協力してもらった	助成を受けることで活動を認知してもらえた	その他	無回答
Q1-7	全体	28	23	3	3	8	6	6	5	12	10	1	0
	うち、「助成1回」	12	11	2	2	3	3	4	2	3	3	1	1
	うち、「助成2回」	4	1	0	0	1	1	1	0	4	3	0	0
	うち、「助成3回」	8	6	1	1	4	2	1	2	3	3	0	0

Q1-7(助成回数)×Q8(公開選考会の意義)

		Q8							
		計	選考の過程が透明で、公平だと感じた	選考において重点が置かれるポイントが分かった	自分たちの提案した内容に不足している点があった	質疑応答で出された意見が、活動を企画する上で参考になった	選考は公開で行わないうまい	その他	無回答
Q1-7	全体	30	23	11	8	10	0	5	1
	うち、「助成1回」	12	8	5	3	4	0	3	0
	うち、「助成2回」	4	4	0	1	1	0	0	0
	うち、「助成3回」	8	7	5	3	5	0	1	0

Q2(活動の種類)×Q5-1-1(現在の活動)

		Q5-1-1												
		計	防犯・防 災	健康・ス ポーツ	芸術・文 化(音 楽、絵 画、写 真、ダン スなど)	環境問 題(海、 緑化な ど)	清掃、地 域美化	イベン ト・にぎ わい創 出	ホスピタ リティ向 上(ボラ ンティア ガイド、 バリアフ リーな ど)	地域情 報の発 信	福祉(高 齢者、障 害者、子 ども)	国際交流	その他	継続し ていな い・無回 答
Q2	全体	30	3	3	5	2	8	16	2	3	7	2	4	5
	うち、「イベント・にぎわ い創出」	15	1	1	2	0	3	10	1	2	2	0	0	4

Q5(団体の継続)×Q7(今後の活動意向)

		Q7				
		計	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
Q5	全体	30	25	0	4	1
	はい	25	22	0	2	1
	いいえ	4	2	0	2	0
	無回答	1	1	0	0	0

Q7(今後の活動意向)×Q5-1-1(活動の種類)

		Q5-1-1												
		計	防犯・防 災	健康・ス ポーツ	芸術・文 化(音 楽、絵 画、写 真、ダン スなど)	環境問 題(海、 緑化な ど)	清掃、地 域美化	イベン ト・にぎ わい創 出	ホスピタ リティ向 上(ボラ ンティア ガイド、 バリアフ リーなど)	地域情 報の発 信	福祉(高 齢者、障 害者、子 ども)	国際交流	その他	継続し ていな い・無回 答
Q7	全体	30	3	3	5	2	8	16	2	3	7	2	4	5
	はい	25	3	3	4	2	7	14	1	3	7	2	4	3
	いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	どちらともいえない	4	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	2
	無回答	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

Q7(今後の活動意向)×Q6(課題)

		Q6											
		計	資金の確保	活動拠点や活動場所の確保	メンバーの確保	メンバーの高齢化	リーダーの不在	実務担当者の不足(会計、広報、ボランティア、その他)	広報手段の確保	他の活動団体とのネットワーク作り	企業とのネットワーク作り	その他	無回答
Q7	全体	30	21	6	6	2	3	8	5	1	5	3	1
	はい	25	19	4	4	2	2	8	5	1	5	1	0
	いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	どちらともいえない	4	2	2	2	0	1	0	0	0	0	2	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

図1 みなとみらい21地区内の活動場所

[illegible]

*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】

図2 年度別活動場所の分布と活動名



*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】

活動の種類

- ホスピタリティ向上
- 環境・地域美化
- 企業交流
- 季節イベント・まつり
- 芸術文化
- 健康・スポーツ
- 国際交流
- 地域研究
- ▲ 動物ふれあい
- ▲ 福祉
- ▲ 防災防犯

活動のタイプ

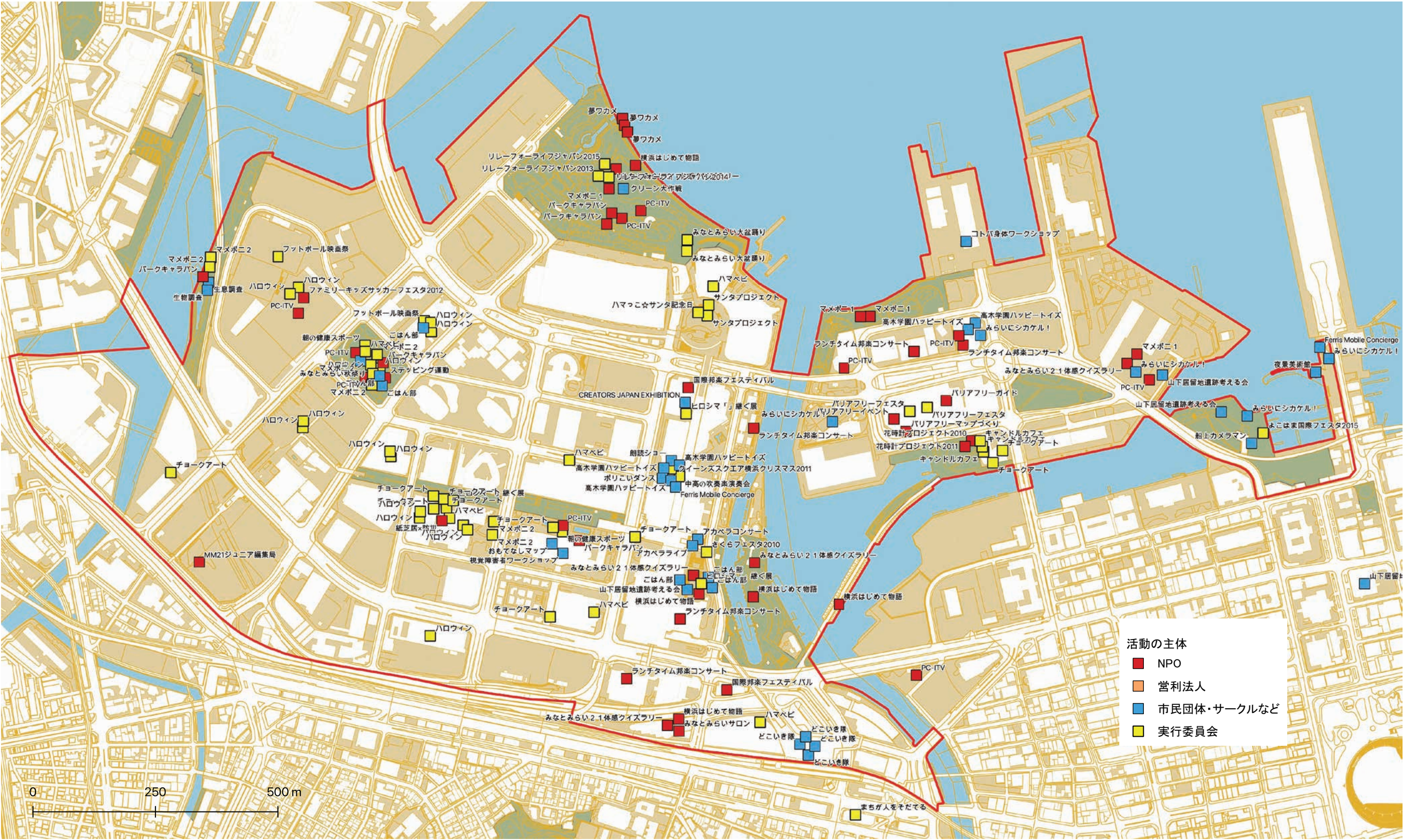
- 体験参加
- 地域貢献ボランティア
- 展示発表

図 5 活動場所の空間種別分布



*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】

図 6 活動の主体別活動の分布



*【横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第 9118 号】

(5) 助成対象活動の概要(1/2)

活動 番号	活動呼称	活動の拠点・主な活動場所	活動の内容	年度	活動主体	助成 回数	活動空間種類	活動 空間 数	活動種類	活動種類2	活動主 体に子 どもを 含む	障害児 者関連	広域	助成回数 と活動場 所
1	夢ワカメ	パシフィコ横浜周辺水辺	ワカメの生育と収穫	H21	NPO	3	屋外(公園以外)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●●●
2	パトロール隊	MMタワーズマンション	自主防犯パトロール	H21	企業・財団	2	屋外(公園以外)	単	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯			広域1	★★
3	日本丸写真展	みなと博物館	日本丸の写真募集、展示	H21	企業・財団	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●●
4	ハロウィン	高島中央公園	ハロウィンin新高島	H21	実行委員会	2	屋外(公園)	複	季節イベント・まつり	イベント				●●
5	バリアフリーイベント	ワールドポーターズ	MM21地区内の車いすでの探索活動、研修会	H21	NPO	3	屋内	複	福祉	ホスピタリティ向上			広域1	★○★
6	朝の健康スポーツ	グランモール公園・美術の広場	健康スポーツのイベント	H21	実行委員会	2	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				○●
7	Ferris Mobile Concierge	大さん橋など	旅行者への道案内など	H21	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上	○		広域1	★★
8	ジョイントクリーンナップ	さくら通り周辺	3ホテル従業員有志による合同清掃	H22	企業・財団	1	屋外(公園以外)	複	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●
9	みなとみらい大盆踊り	臨港パーク	大盆踊りイベント	H22	実行委員会	2	屋外(公園)	単	季節イベント・まつり	イベント				
10	帆船日本丸吹奏楽演奏会	日本丸前アリーナ	計14回の吹奏楽演奏会	H22	企業・財団企業・財団	2	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●●
11	さくらフェスタ2010	さくら通り全域(全長500m)	提灯を点灯するなどのイベント	H22	実行委員会	1	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				●
12	花時計プロジェクト2010	運河パークの花時計ほか	周辺小中学校で苗から花を生育、現地で植替えのボランティア活動	H22	NPO	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
13	クリーン大作戦	臨港パーク	約560名による清掃活動	H22	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯	○			●
14	山下居留地遺跡考える会	都市発展記念館	近代遺跡の活用研究・PR活動	H22	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園以外)	複	地域研究	芸術文化・地域研究				●
15	パトロール隊	MMタワーズマンション	周辺の自主防犯パトロール	H22	企業・財団	2	屋外(公園以外)	単	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯			広域1	
16	ハロウィン	リーフみなとみらい	ハロウィンイベント	H22	実行委員会	2	屋内	複	季節イベント・まつり	イベント				
17	Ferris Mobile Concierge	クイーンズスクエア横浜	観光案内ほか	H22	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園以外)	複	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上	○		広域1	★★
18	朝の健康スポーツ	高島中央公園	スポーツイベント	H22	実行委員会	2	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●○
19	中高の吹奏楽演奏会	クイーンズスクエア横浜	吹奏楽演奏会	H22	実行委員会	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●●
20	ハマっこ☆サンタ記念日	パシフィコ横浜円形広場	三団体のサンタイベント	H22	実行委員会	1	屋外(公園以外)	複	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯			広域1	
21	夢ワカメ	パシフィコ横浜周辺水辺	わかめの生育収穫	H22	NPO	3	屋外(公園以外)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
22	バリアフリーマップづくり	ワールドポーターズ	バリアフリーマップ	H22	NPO	3	屋内	単	福祉	ホスピタリティ向上		○	広域1	
23	日本丸写真展	みなと博物館	日本丸の写真募集、展示	H22	企業・財団	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				
24	PC-ITV	みなとみらい農家朝市(高島中央公園)	みなとみらい21の放送局	H23	NPO	2	屋外(公園)	複	地域研究	芸術文化・地域研究				●●
25	国際邦楽フェスティバル	県民共済みらいホール	和楽器のワークショップ、演奏会	H23	NPO	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●○
26	象の鼻元気プロジェクト	象の鼻	野外YOGAイベント	H23	企業・財団	1	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●
27	アカペラコンサート	グランモール公園・円形広場	横浜国大ほか5団体のアカペラコンサート	H23	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究	○			●
28	ステッピング運動	高島中央公園	10回開催のステッピング運動イベント	H23	NPO	1	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●
29	花時計プロジェクト2011	運河パークの花時計ほか	小中学校で苗の育成、現地で植替えボランティア活動	H23	NPO	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●●
30	帆船日本丸吹奏楽演奏会	日本丸前アリーナ	日本丸前で吹奏楽の演奏会16回	H23	企業・財団	2	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				
31	みなとみらい大盆踊り	臨港パーク	大盆踊りイベント	H23	実行委員会	2	屋外(公園)	単	季節イベント・まつり	イベント				●●
32	横浜はじめて物語	市民活動支援センター	「横浜はじめて物語」を体験する探索、クイズラリー	H23	NPO	2	屋内	複	地域研究	芸術文化・地域研究			広域2	★★
33	キャンドルカフェ	運河パーク・ナビオス横浜	キャンドル点灯、ライブ開催など	H23	実行委員会	3	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				●●●
34	クイーンズスクエア横浜クリスマス2011	クイーンズスクエア横浜	シンギングツリーの制作展示	H23	実行委員会	2	屋内	単	季節イベント・まつり	イベント				
35	サンタプロジェクト	パシフィコ横浜円形広場	サンタのステージ、清掃活動など	H23	実行委員会	2	屋外(公園)	複	季節イベント・まつり	イベント			広域1	★★★
36	夢ワカメ	パシフィコ横浜周辺水辺	ワカメの生育、収穫	H23	NPO	3	屋外(公園以外)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
37	バリアフリーガイド	ワールドポーターズ	バリアフリーマップの制作	H23	NPO	3	屋内	単	福祉	ホスピタリティ向上		○		☆●☆
38	ファミリーキッズサッカーフェスタ2012	みなとみらいスポーツパーク	幼稚園児、小学生のサッカー教室、サッカー大会	H24	NPO	1	屋外施設	単	健康・スポーツ	イベント				●
39	バリアフリーフェスタ	ワールドポーターズ	バリアフリーのイベント	H24	実行委員会	2	屋内	単	福祉	ホスピタリティ向上		○		●●
40	PC-ITV	開港祭花火(臨港パーク)	みなとみらい21放送局	H24	NPO	2	屋外(公園)	複	地域研究	芸術文化・地域研究				
41	国際邦楽フェスティバル	みなとみらいホール	和楽器のワークショップ、演奏会	H24	NPO	2	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				○●
42	みなとみらい21体感クイズラリー	市民活動支援センター	探索活動、クイズラリー	H24	NPO	2	屋外施設	複	地域研究	芸術文化・地域研究			広域2	★★
43	生息調査	高島水際線公園	生物のモニタリング調査、公開講座など	H24	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●●
44	ジョギングまつり2012	マリノスタウン	ジョギング、ランウォークなどのイベント	H24	企業・財団	1	屋外施設	単	健康・スポーツ	イベント				●
45	コトバ身体ワークショップ	東京芸術大学横浜キャンパス	芸術ワークショップ	H24	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究	○			●
46	キャンドルカフェ	運河パーク・ナビオス横浜	キャンドル点灯、ライブなど	H24	実行委員会	3	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				
47	サンタプロジェクト	パシフィコ横浜円形広場	サンタによるステージ、清掃活動など	H24	実行委員会	2	屋外(公園)	複	季節イベント・まつり	イベント			広域1	
48	アカペラライブ	グランモール公園円形広場	横浜国大ほか4大学のアカペラサークルライブ	H25	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究	○			●
49	みらいにシカケル!	JICA横浜	高校生によるまちづくりをテーマにした謎解きイベント	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	複	地域研究	芸術文化・地域研究	○		広域2	★
50	朗読ショー	クイーンズサークル	アフリカの昔話、英語で昔話の朗読会	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流	○			●
51	視覚障害者ワークショップ	横浜美術館	視覚障害者をつくる美術	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	福祉	芸術文化・地域研究		○		●
52	船上カメラマン	象の鼻テラス	カメラ教室、船上撮影会など	H25	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究			広域1	★
53	バリアフリーフェスタ	ワールドポーターズ	フリーマーケット、体操ワークショップなど	H25	実行委員会	2	屋内	単	福祉	イベント		○		
54	生物調査	高島水際線公園	水辺の生き物の調査	H25	市民団体・サークルなど	2	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				
55	マメボニ1	赤レンガ倉庫周辺草地	ポニーと親子で遊ぼう	H25	NPO	3	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				●○○

(5) 助成対象活動の概要(2/2)

活動 番号	活動呼称	活動の拠点・主な活動場所	活動の内容	年度	活動主体	助成 回数	活動空間種類	活動 空間 数	活動種類	活動種類2	活動主 体に子 どもを 含む	障害児 者関連	広域	助成回数 と活動場 所
56	チョークアート	MMテラス	路上芸術(チョークアート)	H25	実行委員会	4	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				●○○○
57	夜景美術館	象の鼻パーク	体験型美術館	H25	市民団体・サークルなど	1	屋外(公園)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●
58	みなとみらいサロン	みなとみらい21会議室	地域企業の交流	H25	NPO	1	屋内	単	企業交流	国際交流・企業交流				●
59	リレーフォーライフジャパン2013	臨港パーク	がんサバイバーのイベント。24時間ウォーク、ブース展示ほか。	H25	実行委員会	3	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				●●●
60	CREATORS JAPAN EXHIBITION	みなとみらいギャラリー	作品展	H25	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				●
61	キャンドルカフェ	運河パーク、ナビオス横浜	キャンドル点灯、フोटステージ、ライブなど	H25	実行委員会	3	屋外(公園以外)	単	季節イベント・まつり	イベント				
62	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア	H26	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				●●●●
63	ペイバイク	日本丸メモリアルパーク	営業エリアのごみ拾い(詳細場所は不明)	H26	企業・財団	1	屋内	複	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯			広域1	★
64	ランチタイム邦楽コンサート	JICA横浜	ランチタイムの邦楽コンサート(社食など)	H26	NPO	1	屋内	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				●
65	おもてなしマップ	横浜美術館	ヨコハマトリエンナーレに向けたマップ作成、イベント	H26	市民団体・サークルなど	1	屋内	複	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上			広域1	★
66	マメボニ1	カップヌードルミュージアムパーク	親子でボニーと友達「のわ」をつくろう	H26	NPO	3	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				○●●
67	チョークアート	リーフみなとみらい横	路上芸術(チョークアート)	H26	実行委員会	4	屋外(公園以外)	単	芸術文化	芸術文化・地域研究				○●○○
68	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア活動	H26	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				
69	ペット環境美化	グランドセントラルタワーグリーンシアター	ペットマナー教室、ライブなどのイベント	H26	企業・財団	1	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				●
70	高木学園ハッピートイズ	クイーンズスクエア横浜	手作りぬいぐるみ制作展示、海外発送	H26	市民団体・サークルなど	3	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流	○			●●●
71	フラッシュモブ	臨港パーク	ゴミ拾いとダンスパフォーマンスイベント	H26	企業・財団	1	屋外(公園)	単	環境・地域美化	環境・地域美化・防災防犯				●
72	リレーフォーライフジャパン2014	臨港パーク	がんサバイバーのイベント。24時間ウォーク、ブース展示ほか。	H26	実行委員会	3	屋外(公園)	単	健康・スポーツ	イベント				
73	国際平和映像祭2015	JICA横浜	特別写真展、アワードセレモニーほか	H27	企業・財団	1	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流				●
74	ポリこいダンス	クイーンズモール	ムンバイ姉妹都市50周年を祝うダンスイベント	H27	市民団体・サークルなど	1	屋内	単	国際交流	国際交流・企業交流				●
75	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア	H27	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				
76	マメボニ1	カップヌードルミュージアムパーク	ボニーとみんなで友達になろう	H27	NPO	3	屋外(公園)	複	動物ふれあい	イベント				
77	みなとみらい秋祭り	高島中央公園	綱引き、パレード、サークル紹介、地域防災訓練。	H27	実行委員会	1	屋外(公園)	単	季節イベント・まつり	イベント				●
78	パークキャラバン	高島中央公園	テント張りレクチャー、防災ワークショップ	H27	NPO	3	屋外(公園)	複	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯				●○○
79	よこはま国際フェスタ2015	象の鼻パーク	国際協力、国際交流イベント	H27	実行委員会	1	屋外(公園)	単	国際交流	国際交流・企業交流				●
80	ごはん部	BUKATSUDO	生産者、飲食店コラボ、料理教室	H27	市民団体・サークルなど	3	屋内	単	健康・スポーツ	イベント				●●●
81	高木学園ハッピートイズ	クイーンズスクエア横浜	手作りぬいぐるみ制作展示、海外発送	H27	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	国際交流	国際交流・企業交流	○			
82	リレーフォーライフジャパン2015	臨港パーク	がんサバイバーのイベント。24時間ウォーク、ブース展示ほか。	H27	実行委員会	3	屋外(公園)	複	健康・スポーツ	イベント				
83	マメボニ2	高島中央公園	住民主体によるボニーイベントの開催	H28	市民団体・サークルなど	3	屋外(公園)	単	動物ふれあい	イベント				●●●
84	ヒロシマ「」継ぐ展	みなとみらいギャラリー	平和関連資料展示、イベント	H28	実行委員会	1	屋内	複	季節イベント・まつり	イベント				●
85	フットボール映画祭	ブリリアショートショートシアター	フットボール映画上映、チャリティーイベント	H28	実行委員会	1	屋内	複	健康・スポーツ	イベント				●
86	チョークアート	グランドセントラルタワー	路上芸術(チョークアート)	H28	実行委員会	4	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				○○●●
87	ごはん部	BUKATSUDO	シニア向け料理教室、夕食準備付きランチレッスンほか	H28	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	健康・スポーツ	イベント				
88	高木学園ハッピートイズ	クイーンズスクエア横浜	手作りぬいぐるみ制作展示、海外発送	H29	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	国際交流	国際交流・企業交流	○			
89	どこいき隊	桜木町駅前広場	観光案内ボランティア活動	H29	市民団体・サークルなど	4	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				
90	チョークアート	グランドセントラルタワー	路上芸術(チョークアート)	H29	実行委員会	4	屋外(公園以外)	複	芸術文化	芸術文化・地域研究				
91	ごはん部	BUKATSUDO	高島中央公園からのツアー、夕食準備付きランチレッスンほか	H29	市民団体・サークルなど	3	屋内	複	健康・スポーツ	イベント				
92	パークキャラバン	臨港パーク	ペットと防災キャンプ、アウトドアオフィス	H29	NPO	3	屋外(公園)	複	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯				○●●
93	マメボニ2	グランドセントラルテラス・芝生公園	みなとみらいでボニーと遊ぼう	H29	実行委員会	3	屋外(公園)	複	動物ふれあい	イベント				○●●
94	マメボニ2	高島水際線公園	みなとみらいでボニーと遊ぼう	H30	実行委員会	3	屋外(公園)	複	動物ふれあい	イベント				
95	パークキャラバン	臨港パーク	キャンピングオフィス	H30	NPO	3	屋外(公園)	単	企業交流	国際交流・企業交流				
96	ハマベビ	高島中央公園	ベビーカー貸出	H30	実行委員会	1	屋外(公園)	複	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				●
97	MM21ジュニア編集局	みなとみらい本町小学校	取材活動、こどもメディアシンポジウム開催	H30	NPO	1	屋内	単	地域研究	芸術文化・地域研究	○			●
98	まちが人をそだてる	びおシティ	どこいき隊、フェリスが一部に	H30	実行委員会	1	屋外(公園以外)	単	ホスピタリティ向上	ホスピタリティ向上				●
99	紙芝居×防災	MMテラス	紙芝居と防災ショート講座	H30	NPO	1	屋外(公園以外)	単	防災防犯	環境・地域美化・防災防犯				●

*表頭「活動種類」は11分類(2-4(4)の活動の種類に同じ)、「活動種類2」は5分類(環境・地域美化・防災防犯／芸術文化・地域研究／イベント／ホスピタリティ向上／国際交流・企業交流)に統合したもの。

*表頭「活動回数と活動場所」は●○★☆とも助成回数を示す。
例: ●●●:3度の助成で同じ場所で活動、●○:2度の助成で1度目と2度目が別の場所で活動
★:広域で展開している活動
夢ワカメ(No1,21,36)やキャンドルカフェ(No33,47,61)のように同じ場所で継続している活動もあれば、チョークアート(No56,67,86,90)のように、場所を移しながら継続している活動も見られた

(6)選考委員一覧

選考年度	氏 名	所 属 等
創設時	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	杉山 千佳	有限会社セレーノ代表取締役
	宮浦 修司	横浜市都市整備局都市づくり部長
	川崎 利雄	一般社団法人横浜みなとみらい21総務部長
平成21年度下半期	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	杉山 千佳	有限会社セレーノ代表取締役
	宮浦 修司	横浜市都市整備局都市づくり部長
	森 廣人	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成22年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	宮浦 修司	横浜市都市整備局都市づくり部長
	森 廣人	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成22年度2次 平成23年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	村田 和義	横浜市市民局市民協働推進部市民活動支援課担当課長
	森 廣人	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成23年度2次 平成24年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	村田 和義	横浜市市民局市民協働推進部市民活動支援課担当課長
	大槻 哲夫	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成24年度2次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	市川 嘉一	ジャーナリスト
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	齋藤 善一	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成25年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	宮本 敏也	神奈川新聞社編集局次長兼経済部長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	齋藤 善一	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成25年度2次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント

	宮本 敏也	神奈川新聞社編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	小宮 勝男	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成26年度1次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
平成26年度2次	清水 あつ子	CSRコンサルタント
平成27年度1次	小野 明男	神奈川新聞社編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	小宮 勝男	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成27年度2次	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	小野 明男	神奈川新聞社編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	大濱 宏之	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成28年度 平成29年度	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	青木 晋	神奈川新聞社 統合編集局編集総務兼編集総務部長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	大濱 宏之	横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課長
	斉藤 良展	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事
平成30年度	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	清水 あつ子	CSRコンサルタント
	石曾根 剛	神奈川新聞社統合編集局次長
	朝比奈 ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員、手づくり造園家
	岩岡 敏文	横浜市市民局市民協働推進部市民活動支援課長
	藤田 格	一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事